

めぐみイエス・キリスト教会

2019年1月13日(日)新年第二主日礼拝
週報「通算第439号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年1月13日(新年第二主日礼拝)
第一礼拝 午前10時～11時 第二礼拝 午後6時～7時
司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

- 【前奏祈祷】
- 【賛美Ⅰ】 新聖歌343 「罪に満てる世界」 p. 546
- 【交読文】 No.25 詩篇第73篇 p. 899
- 【賛美Ⅱ】 新聖歌233 「驚くばかりの」 p. 354
- 【使徒信条】
- 【主の祈り】
- 【先週説教】
- 【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」
- 【聖書朗読】 第Ⅱペテロ1章5節～10節(新約p. 422上段)
- 【祈 禱】
- 【説 教】 《確かなものとしなさい(Part. Ⅱ)》 鈴木竜実牧師
- 【聖 餐 式】
- 【賛美Ⅳ】 新聖歌162 「ハレルヤハレルヤ」 p. 232
- 【平和祈り】
- 【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85
- 【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【第Ⅱペテロの手紙1章5節～10節】

1:5 こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、

1:6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

1:7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

1:8 これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結ばない者になることはありません。

1:9 これらを備えていない者は、近視眼であり、盲目であって、自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまったのです。

1:10 ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。

●ポイント1 「召されたこと」とは？

※ローマ人への手紙1章6節～7節「イエス・キリストによって」(新約p.265)

あなたがたも、それらの人々の中であって、イエス・キリストによって召された人々です。このパウロから、ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。

※ヨハネの福音書15章16節「主イエス様の言葉」(新約p.194上段)

15:16 「あなたがたが私を選んだのではありません。私があなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残る為であり、また、あなたがたが私の名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになる為です。」

※第 I コリント1章26節～28節「愚者・弱者と無に等しい者」(新約p.291)

1:26 兄弟たち、あなたがたの召しのことを考えてごらんください。この世の知者は多くはなく、権力者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。

1:27 しかし神は、知恵ある者をはずかしめる為に、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめる為に、この世の弱い者を選ばれたのです。

1:28 また、この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものをない者のようにする為、無に等しいものを選ばれたのです。

●ポイント2 「選ばれたこと」とは？

※エペソ人への手紙1章4節～11節「みこころのままに」(新約p.341上段)

◎先週のメッセージの概要【確かなものとしなさい(Part I)】

《さて、2019年の新年標題聖句は、第Ⅱ ペテロの手紙の1章10節です。「ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。」ここから2週にかけて、学んで行きます。

さて、ペテロは勧めます。「こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。」と。

ペテロはなぜこのように言うことができるのでしょうか。それは、以前の彼は、そのような者ではなかったからです。イエス様が十字架にかけられたのは、紀元27年頃だと言われています。この手紙は、ペテロがローマで殉教する直前であり、紀元67年頃なのです。つまりイエス様が昇天されてから約40年の歳月が流れています。この時のペテロは、まさに、徳、知識、自制、忍耐、敬虔、兄弟愛を持っていたのです。変えられていたのです。

ペテロとパウロが初めて出会ったのは、紀元35年頃です。そのことを、パウロは、「ガラテヤ人への手紙」に書き記しています。

『私はケパを訪ねてエルサレムに上り、彼のもとに15日間滞在しました。』と。

サウロの改心は紀元32年であり、その後3年間はダマスコに戻り、旧約聖書を徹底的に調べあげ、主イエス様への信仰を確かなものとしたのです。

ユダヤ議会において、ラバン(ラビの中のラビ)と呼ばれたガマリエルの一弟子、サウロの卓越した知識と能力には、かつてガリラヤ湖の漁師にすぎなかったペテロには、あまりの違いさを感じたことは、言うまでもありません。

それ故、ペテロはあらゆる努力をしたのです。だから言えるのです。

御霊の実は、「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制」です。本来これは聖霊によって与えられるものなのです。しかし私たちの側にもすべきことがあることをペテロは教えています。それが「あらゆる努力」なのです。つまり熱心に祈り求めるのです。主イエス・キリストの証人として。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は1月20日(日)です。鈴木牧師は、聖書キリスト教会にて午後2時から行なわれます「教会大会」に出席しますので、第二礼拝は午後7時から行ないます。また、次回祈祷会は1月16日(水)午後6時15分からです。